

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.50 2022年7月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

発行責任者 岡 英輔

第43回県労福協定時総会 ～福祉はひとつ～



6月21日(火)新潟東映ホテルにおいて、県労福協第43回定時総会が開催され、会員団体・役職員の89名が参加しました。本年度の総会は、新型コロナウイルス感染症も一定程度落ち着いた現状を踏まえて、昨年と同様に総会後の特別講演も開催することとなりました。

牧野理事長から、『私たちを取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害をはじめ、生活に多大な影響を及ぼし続ける新型コロナウイルス感染症、そして浮き彫りとなった社会的セーフティネットの脆弱性や深刻化するさまざまな格差が、今なお社会に大きな痛みを与えている。特にコロナ禍は社会の脆弱さと不条理を明らかにした。だからこそ私たちは、自己責任の「自助」ではなく、支え合い・助け合いの「公助」と「共助」に重きを置き、その実現のためにも、ジェンダー平等はもとより、多様な価値観・背

景を持つさまざまな人たちの社会対話をさらに進めなくてはならない。

また、世界に目をむければロシアによるウクライナ軍事侵攻は、子どもを含む多くの民間人が無差別に攻撃され、平和な暮らしが壊されている。独立国の主権とそこに暮らす人々の生活を踏みしじり、平和と秩序を武力によって破壊する暴挙を改めて厳しく非難し、即時撤退を強く求める。

また、この状況が長引けば長引くほど世界経済にも深刻な影響を及ぼし、新型コロナウイルスによる社会・経済活動の停滞に加え、資源高や供給制約、円安などの影響による物価上昇が、日常生活の大きな負担となっている。

新潟県労福協は、本日の総会で、活動の基本である、勤労者が安心・安全に暮らせる生涯福祉社会の実現に向け、労働団体・労働者福祉事業団体等と連携し活動を推進する。労福協の理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざすとともに、県民の生活向上に向けた政策提言などの取り組みについて会員団体を中心として、行政や様々なNPO・市民活動団体との連携・共同を強化し、ポストコロナ社会に向けて労働者自主福祉運動を力強く展開する。

また、会員団体と情報の共有化や共通認識の醸成に取り組み、各団体の実施する事業を総合的な福祉事業と据えて活動し、厳しい環境下にある労働者福祉事業

団体との連携はもとより、設立の原点である「共に活動する主体」を考慮した関係の構築をはかり、労働団体へは、労働者福祉事業の商品・制度の宣伝ばかりでなく、利用促進の必要性など大会方針に掲げ、組合員の利用促進をお願いする。

地区労福協は、任務分担を明確化するため、2021年10月から新たな事務局長を選出し、連合地域協議会事務局長との併任を解消した。今回の対応により、新たに配置された地区労福協事務局長が、地区労福協の活動に専念し地域の様々な団体との連携により地域課題に対応できるよう取り組みを強化する。

そして、会員各位の協力により、労福協運動の定着・前進に向け力を合わせ、総力戦で運動を進めていく所存です。』との挨拶がありました。

総会では、2021年度の事業報告、2022年度事業計画、2022年度収支予算報告を行いました。

事業計画に対して、武田代議員(ささえあい生協)から、「県民に関わるパーソナルサポート事業やNPO・市民団体と連携した労福協運動に感謝している。更なる協同組合間の連携を強めてほしい。労協法のもと、更なる運動を行って欲しい。」との補強意見がありました。

第1号議案「2021年度の決算報告ならびに監査報告に関する件」、第

2号議案第「役員交代に関する件」について、全て満場一致で承認されました。

なお、総会において、4名の理事（齋藤悦男氏、砂長勉氏、大津岳氏、中村綾男氏）と1名の監事（大岩敏和氏）が退任され、新たに3名の理事（登坂崇規氏、飛田博之氏、鶴巻洋介氏）と1名の監事（長谷川建雄氏）が選任されました。

総会後には講演会を開催し、「持続可能で活力ある共生社会を耕す協同労働の可能性」と題して、古村伸宏氏（日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会 理事長）より、労働者協同組合の可能性について、法制度の根幹、各地域の取り組み事例にも触れながら貴重な講演がありました。

なお、講演内容は、新潟県労福協TV (YouTube) にアップしましたので、視聴願います。

【動画アドレス】

<https://youtube.com/5ufm36BcA8>



新潟県奨学金ネットワーク

設立総会および記念講演会

4月12日（火）新潟市勤労福祉会館において、標記の総会および記念講演会が33名（会場22名、オンライン11名）の参加で開催されました。

総会は、ネットワーク設立準備会代表の江花史郎氏（弁護士）から、設立に向けたこの間の取り組みと、ネットワークがめざす目的「この団体は、新潟県内で奨学金事業を行う団体、奨学金問題・支援に取り組む団体・個人間の連携を図り奨学金問題の周知、若者の学びと成長を社会全体で支える一助となることを目的とする」等についての挨拶がありました。

議事では、第1号議案「新潟県奨学金ネットワーク規約（案）」、第2号議案「新潟県奨学金ネットワーク役員名簿（案）」の提案を、準備委員会間事務局長が行い、それぞれ満場一致の承認を頂きました。

役員体制は、代表に、江花史郎氏（弁護士）副代表に、中川亨氏（ろうきん



福祉財団）、吉田裕史氏（高教組顧問）、事務局長に間英輔（県労働協）を選出・承認しました。



記念講演

会では、「今日の日本における奨学金制度の実態と課題」と題して、奨学金問題対策全国会議事務局長・岩重佳治氏（弁護士）から、コロナ禍で学費・奨学金の相談は急増していないが、①

もともと深刻な問題、②学費と奨学金は慢性疾患、③コロナ禍で従来の問題が改めて浮き彫りになった実態（高額の負担、返済の負担、家族を前提とした制度の矛盾）が、多くの相談内容から浮き彫りになっていることが鋭い視点で話されました。

岩重氏の講演は、今後のネットワーク活動の示唆となり有意義な講演会となりました。ネットワークは会員の拡大と具体的な活動展開に向けて取り組みを確認しました。

なお、岩重氏の講演内容は、新潟県労福協TVで、YouTubeにアップしましたので、是非視聴願います。

【動画アドレス】

<https://www.youtube.com/channel/UC9Z493MbzoJia0ZK3c30BA>

新潟県労働金庫

第70回通常総会

6月27日（月）ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県労働金庫第70回通常総会が開催されました。

総会では、齋藤理事長より、一年の振り返りから、①コンプライアンス、②笑顔をつなぐ社会貢献活動、③新潟ろうきん福祉財団の事業、④信頼され、必要とされる金融機関であるために、について事例も含め丁寧な挨拶がありました。

報告事項では、第70期業務報告、貸借対照表および損益計算書報告の件、決議事項では、第70期剰余金処分案承認の件、2022年度事業計画設定の件など、全て確認・承認されました。

なお、役員改選では、理事長・齋藤敏明氏（再任）、専務理事・鶴巻洋介氏（新任）、常務理事・村山義則氏（再任）、西山勉氏（新任）、常勤監事・長谷川建雄氏（新任）が、選任されました。



労協法施行元年

2022にいがた協同集会

協同労働で仕事と地域をつくる



4月9日(土)、新潟市勤労福祉会館において、ハイブリッド形式(会場17名・リモート109名)で、にいがた協同ネット主催による「2022にいがた協同集会」が開催されました。

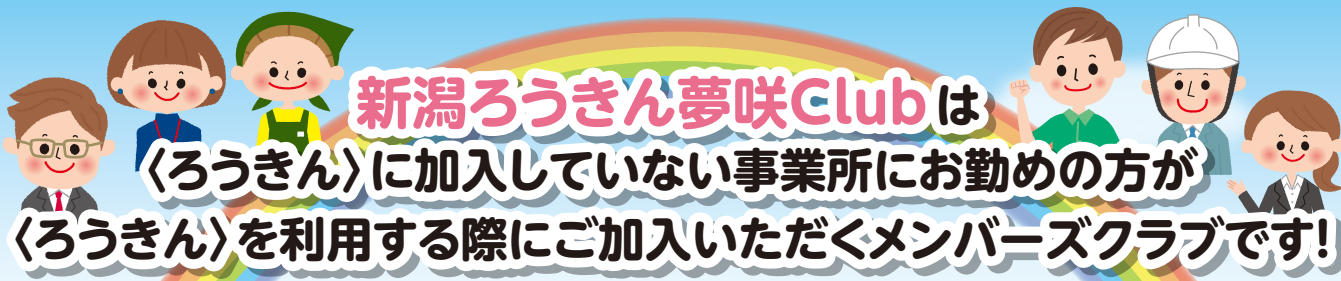
集会は、にいがた協同ネットの渡邊登代表から、今集会の意義が話され、集会の基調提起が、田中夏子氏(長野県高齢者生協理事長)から、「交わそう、地域でやりたいことのあれこれ・協同労働、どう生かす」をテーマとして、自らの活動内容の説明がなされました。

事例報告では、①阿賀町農業に挑戦「猪雅美氏(阿賀町地域おこし協力隊)」、②佐渡市地域づくり「佐藤定氏(椎泊桜の家副代表)」、③子育ての現場から「齋藤紀美子氏(センター事業団新潟事業所長)」、④ささえあい生協の仕事おこし「高見優氏(ささえあい生協理事長)」、⑤居場所づくり「伊藤由紀子氏(センター事業団松本事業所長)」、関連、ふくちやcafe「柏槽幸子氏・富田絵里子氏」、⑥小農・森林ワーカーズ「玉木信博氏(センター事業団専務補佐)」、各位から各々の取り組み実態等具体的な報告がありまし



た。集会のコメントを、新潟県産業労働部しごと定住促進課土田課長、新潟市経済部雇用・新潟暮らし推進課野本課長から、自治体の取り組み方針等を頂きました。

最後に、江花事務局長から、協同労働法施行に向けて各地域の具体的な取り組みが今集会を契機に、促進されることを、まとめとして話され集会は終了しました。



新潟ろうきん夢咲Clubは

〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が

〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです!

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。※入会金や会費は必要ありません

ご加入 いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- ① 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- ② 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と 会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp> 新潟ろうきん夢咲Club 検索

【西コース優勝…山崎 雅彦氏】



【東コース優勝…福島 英輔氏】



5月16日(月)、県労福協主催による第35回チャリティゴルフ大会が「フォレストカントリー倶楽部」で開催されました。

当日は、五月晴れの絶好のゴルフ日和で、91名が参加し、実力をいかんなく発揮する方、練習不足で大たたきをする方など、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。

第35回チャリティゴルフ大会

「新潟県薬物依存者を抱える家族の会および「連合ゆにふあんウクライナ救援カンパ」に寄付!!



した。三密を避けるため、昨年と同様に開催ルールを前半9ホールによるハندی戦とし、終了後の表彰式は行わず、18ホール終了時に個別で表彰を行う形態で開催しました。

参加者の厚意により集まったチャリティ金146,001円は、6月21日開催の第43回県労福協定時総会において、「新潟県薬物依存者を抱える家族の会」および「連合ゆにふあんウクライナ救援カンパ」に贈呈しました。参加者の皆様のご協力にあためて感謝申し上げます。



【チャリティ金の寄贈】
【家族の会 小西代表世話人】

● 大会の上位入賞者 ●

東コース優勝者	福島 英 輔 (労働金庫)
西コース優勝者	山崎 雅 彦 (電機連合)
東アウトベスグロ	山崎 豊 作 (交通労連)
東インベスグロ	城 田 克 仁 (フォレストcc)
西アウトベスグロ	山 田 寿 (自治労)
西インベスグロ	青 木 富美子 (県生協連)



【チャリティ金の寄贈】
【連合新潟 小林事務局長】

労働金庫から生活資金や住宅資金を
借り入れる際の保証人となる

**勤労者のための
信用保証機関です。**

【保証引受の実績】

(2022年5月31日現在)

保証引受の 内容	保証引受残高	
無担保 ローン	29,373件	40,157,657,890円
有担保 ローン	8,853件	99,613,794,315円
合 計	38,226件	139,771,452,205円

一般財団法人 **新潟県労働者信用基金協会**

〒951-8113

新潟市中央区寄居町332番地18

第93回新潟県中央メーデー

「二人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし
みんなが輝く未来を作ろう!!」

4月29日(金)新潟市中央区・万代島多目的広場において県中央メーデーが開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間は役員の出席に限定していましたが、3年ぶりに約200名の組合員・来賓の参加とYouTube配信で開催されました。

牧野実行委員長は「県内経済は個人消費が停滞し厳しい。エネルギーの価格や生活必需品が高騰し、賃上げが追い付かない。引き続き全ての労働者の処遇改善に取り組んで行く」と挨拶で述べました。

プラカードコンクールでは、各組合の力作が出品され、審査員を悩ませるレベルの高いコンクールとなりました。



最後に、小林実行委員会事務局長から「第94回メーデーは、多くの仲間が結集する集会としたい」との強い思いを込めた閉会の挨拶がありました。

なお、県労福協の間専務も、会場に参加し「第93回メーデー万歳」と連帯の挨拶を行いました。

消費生活ネットワーク新潟

第5回通常総会

6月11日(土)新潟市勤労福祉会館において、NPO法人消費生活ネットワーク新潟第5回通常総会が、正会員86名(会場14名、書面66名、委任状6名)の参加で開催されました。

堀田理事長から、「2021年10月

20日付で、新潟県内では初

となる適格消費者団体とし

て、内閣総理大臣の認定を

受けることが

できた。今後は、申入れに

応じない事業者に対する差

止請求訴訟の提起という新



たな手段を付与されたことは、本格的なスタートラインに立てたということでもある。引き続き、差止申入れへの取り組みを強化していきたい」との、挨拶を受け総会が進行されました。

提案された議案、①2021年度活動報告、②2021年度収支決算および会計監査報告、③2022年度活動計画(案)、④2022年度予算(案)、⑤役員の改選、については、全て満場一致で承認されました。役員体制では、理事長に、堀田伸吾氏(弁護士)、副理事長に、江花史郎氏(弁護士)、酒井龍氏(弁護士)が再任されました。

なお、県労福協からは、理事に間英輔、監事に佐藤淳が再任されました。

2022年度 全国研究集会

TSUNAGARI 世代を超えて。

6月2日(木)、中央労福協主催の、2022年度全国研究集会が静岡県静岡市(静岡県コンベンションアーツセンター)グランシップにおいて、ハイブリッド形式での開催となり、会場120名・web370名、合計490名の参加で開催されました。(新潟県からは、会場に6名参加)

研究集会のコンセプトは、『コロナ禍をきっかけに時代や社会は急速に変化した、私たちはこのかつてない変化の上で、よりよい未来の創造に向けて、「世代を超えて」取り組みを広げていく必要がある。』

2030年の国連SDGsの達成、労福協の2030年ビジョンの実現に向け、新しいつながりへアプローチする第一歩として、現代の若者たちの持つ感性、価値観、考え方や生き方などにふれ、「同じ社会の担い手として一緒にできることはないか」を模索する。

若者たちを知り、若者たちとのつながり、社会的課題の解決や地域おこしへのヒントを考察する。」としての集会でした。

トークセッションでは、ファッションデザイナーに日詰一幸氏(静岡大学・学長)、ゲストに鈴木智子氏(静岡県大学出版会・代表理事)、須賀貴子氏(ワークスコープ・埼玉事業本部・事務局次長)、岑永知早紀氏(静岡大学人文社会科学部・3年)、南部美智代氏(中央労福協事務局長)によるトークセッションが行われました。

労福協の取り組みに対する率直な感想や、労福協が取り組むべき方向性など、多岐にわたる角度からの指摘があり、今後の組織づくりの参考となりました。

なお、来年度は、西部ブロックでの開催予定となっています。



県央地区

地区労福協からの たより



にフードバンクにいがた県央センターに届けました。

県央地区労福協は、2012年5月に結成され10年が経過し「労福協運動を通して地域社会と繋がりを貢献しよう」を掲げて活動をしています。昨年は全県規模イベントとして、新型コロナウイルス下でしたが、「2021にいがたワーク&ライフフォーラム in 県央」を開催し、300余名が参加、講演会や分科会などで研修と交流を深めることができました。

また、県央地区労福協の事業の柱のひとつでもあった「県央ライフサポートセンター」は昨年9月末で閉所となりましたが、新たな地域連携をめざして、構成団体をはじめ、自治体、社協、各NPO団体など連携し、住民参加型のイベントや労働者協同組合法の地域展開など、新しい取り組みにもチャレンジして地域貢献に努めて参ります。

今年の県央地区合同メーデーで、労福協としてフードドライブにも参加し多数の食材の提供を受け、早々



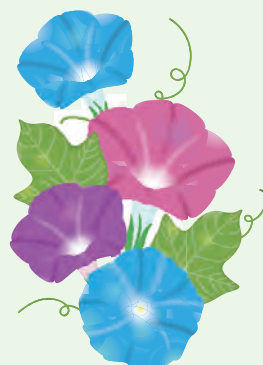
上越地区

上越地区メーデーが、4月29日(金)上越文化会館にて開催されました。新型コロナウイルス感染症により、3年ぶりの集合型の開催となり、約450人の組合員とご家族が集まりました。

同時にフードドライブも実施し、



参加された皆様から食品や日用品など、多くの品々を寄付していただきました。メーデー終了後には、フードバンク上越へお届けし、大変喜んでいただきました。多くの皆様のご協力に感謝申し上げます。上越地区労福協として、反貧困活動並びに食の安全対策として、今後もフードバンク活動の支援を継続していきたいと考えています。



創立70周年記念 特別企画 Ret's Join!!

実施期間 2022年5月2日(月)～2022年12月30日(金)

ありがとうキャンペーン 実施中!

対象 ろうきんとお取引をいただいている皆さま

【応募条件】●下記対象取引のうち3項目以上のお取引(新規契約含む)があり、かつ預金残高(対象項目①、②の合計額)が5,000円以上の方
●専用フォームから応募手続きを完了した方
【対象取引】①普通預金または貯蓄預金 ②定期預金・エース預金・財形預金のいずれか ③投資信託・NISA・つみたてNISA・国債のいずれか ④iDeCo ⑤給与振込または公的年金 ⑥融資契約(マイプラン契約含む) ⑦ろうきんアプリ契約
※上期の抽選分は8月末時点、下期の抽選分は12月末時点で応募資格を満たしている方を抽選対象といたします。※当選本数は半期ごとに半々となりますが、1等は上期3本、下期4本といたします。※ろうきんアプリの利用が困難な場合、書面での申込みも承ります。ご希望の方は店舗ろうきん職員へお申し出ください。
【抽選・当選発表】●抽選は2回に分けて行います。1回目(上期)は2022年5月2日から8月31日までにご応募いただいた方を対象に2022年9月に、2回目(下期)は2022年9月1日から12月30日までにご応募いただいた方を対象に2023年1月に行います。●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

抽選で777名様に当たる!

A賞

UCギフトカード

3万円分

7名様

B賞

UCギフトカード

1万円分

70名様

C賞

UCギフトカード

500円分

700名様

【キャンペーン応募方法】
ろうきんアプリをインストールし、アプリ内から専用フォームへアクセスの上ご応募ください。
詳しくは店頭へお問い合わせください。

新潟ろうきん

2022年10月1日から 新潟県の条例で

こくみん共済 NEWS
coop

自転車損害賠償保障*への加入が義務化されます！

※自転車の運転によって人の生命または身体が害された場合における損害賠償を保障する共済または保険をいいます。

相手 への補償（自転車で衝突した相手がけがをした場合に備えて…）

こくみん共済



個人賠償 プラス



健康状態にかかわらず加入できる家族みんなの「賠償リスク」に備える保障

住まいる共済



火災共済・自然災害共済
風水害等給付金火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

個人賠償責任共済



火災共済にプラスで家族みんなの「損害賠償」に備える保障

マイカー共済



自動車総合補償共済

自転車賠償責任補償特約



マイカー共済にプラスで家族みんなの「自転車賠償」に備える補償

自分 への保障（転倒による通院や入院に…）

こくみん共済

傷害タイプ

傷害Wタイプ

交通災害共済

交通災害共済

法律上の損害賠償責任を負う場合ご自身だけでなく、
同居で同一生計のご家族が賠償責任を負った場合も保障します。

※マイカー共済に付帯できる「自転車賠償責任補償特約」の保障範囲は「自転車の事故の場合のみ」が対象となります。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

連合

ゆにふぁん

詳しくは
ゆにふぁんホームページを
ご覧ください



ゆにふぁんがつなく
支え合い・助け合い
ゆにふぁんが創り出す
“民”の力

◆ ゆにふぁんの運営 ◆

ゆにふぁんマップでは連合本部が主体となり、活動の実施団体（NPO・NGO）、地方連合会（連合新潟）、構成組織と協力して地域の活動を掲載しています。

クラウドファンディングについて

クラウドファンディングは、インターネットに掲載された活動などの趣旨や目的に賛同した個人が、その活動に資金提供できる仕組みです。ゆにふぁんでは、日本初・実績No.1のクラウドファンディングサイト「READYFOR」と連携し、資金を必要とする活動団体へのクラウドファンディング開設を審査、サポートします。

READYFORに掲載されたプロジェクトは、ゆにふぁんマップで紹介し、広く支援を募集します。

ゆにふぁんマップへの掲載をご希望される皆さまへ

詳しくは連合新潟までお問い合わせください。

☎025-281-7555 平日9時～17時

ゆにふぁんってなに？

ボランティアをしたいけどどうしたらいいかわからない…。
ボランティアや物資、資金を集めたいけど、どう募集したらいいの…。

そんな皆さんをつなぐ、新しい仕組みです。



海岸の清掃活動



子ども食堂

新型コロナウイルスによって
助けを求めている方々へ

想いを届けよう。

支援方法

 クラウドファンディング	 物資による支援	 ボランティア	 募金・寄付金

調査・研究事業報告

連載／第2回

「ウイルス禍での労働」から何を活かすか
―子ども・若者の学びと
就労の環境を考える―

公益社団法人 新潟県自治研究センター

新型コロナウイルス禍の収束が必ずしも見えてはいないものの、7月14日からは全国を対象とした観光需要喚起策がスタートする。経済活動の本格的な再開など、社会行動・様式も新たな段階に入ろうとしている。感染禍の下でリモート授業が主体となっていた大学等でも、現在はマスク着用での対面授業が再開されている。

「ウイズコロナ・アフターコロナと労働環境」をテーマに、2022年3月に発行された報告書所収の論文のうち、今回は、学校教育や若者の就労に関わる2本を紹介する。

【感染禍での学校の経験を活かせるか】

まず、「ポストコロナ」の働き方の議論のために―感染禍で学校・教育現場であらわれた課題を参考にして―では、感染禍への対応としてとられた事例として、オンライン授業の実相を紹介している。

特に当センターに関係する大学教員

や、専門学校での筆者自身の経験を踏まえ、「働く側」から捉えたオンライン授業の課題が挙げられており、「授業の質的低下」を単純に意味しないことや、働き方改革と合わせた議論の必要性など、独自の視点も提示されている。

また、2020年の感染禍の始まりから今日まで、学校現場に相次いで出されたさまざまな要請―突然の一斉休校に始まり、その後の校内消毒や健康チェック、手洗い指導、果ては抗原検査キット配布等々―について、それらが働き方にどのような影響を与えたのかを具体的に示している。特に、新潟県教職員組合が現場教職員の声として集計し続けた、「新型コロナウイルス」の取り組みの一端が掲載されているが、そこにはスクール・サポート・スタッフの確保を求める切実な声や、感染予防対策に忙殺される様子などが明らかにされている。しかし、それは、感染禍以前から厳然として存在した、人員不足と業務量過多、学校のハード面の

不十分さが、感染拡大によって顕在化したともいえるのである。

文科省が「正しい手洗い」として、せっけんをよく泡立てて流水で30秒洗うことを示しても―しかも一日で「手洗いのタイミング」が6つもある―、真冬の新潟で、学校のお湯の出ない水道では、それが現実的でないことは誰もがわかることである。そして、これは学校に限らないこともある。

感染禍があまり出した、働く現場がもともと持っていた課題が、今後の「アフターコロナ」の議論のなかで置き去りにされないことを強く訴える論稿である。

【若者の雇用はどうなったか】

大学生の就職活動は、現在すでに民間では内定、内々定が出され、公務員も採用試験がこれからピークを迎えようとしている。オンラインとマスク着用で学生生活を送った大学生の就職、雇用環境に焦点を当てて論じているのが、「コロナ禍の就労と新規学卒者の動向―オミクロン株感染拡大状況の企業の動きと新卒者の意識変化―」である。

同論文では、ウイルス禍の打撃をもっとも受けた代表例として、不安定な雇用にある非正規労働者が挙げられているほか、テレワークやジョブ型雇用などの今後についても言及している。そして、特に紙面を割いて述べている

のが、「就活ルール」の廃止で過熱が予想されながら、緊急事態宣言による冷え込みとその後就職活動の長期化を余儀なくされた、2021年新規学卒者の採用状況についてである。「学部・学科の違いが、買い手市場と売り手市場の振り分けに繋がり、その格差は拡大しつつある」こと、人文科学系学生の主な就職先である事務系の雇用が減少していること、就職先の人気企業ランキングの変化がみられることなど、近年の若者の就労に関わる特徴が挙げられている。そして、就職希望者の意識の変化として注目すべき点のひとつが、地方企業が「選肢肢」となってきたことである。

大都市での生活が「働き」「暮らす」ことにゆとりを持たない厳しい現実や、非正規雇用の拡大なども背景にして、「卒業後は帰郷して地元企業」という意識が広がっているという。雇用の地域間格差のは正のためにも、この機会を捉えて、将来性を持ち多様性のある雇用機会を創造することが、地方活性化の要であるとしている。

今年から来春にかけて、新潟県内は、国政・地方選挙が相次ぐ時期となっている。いわゆる「地方創生」のあり方を考えるうえでも、参考になる論文である。

(文責・新潟県自治研究センター)

齋藤 喜和



コープデリにいがた

「あなたらしさ」が選べる生協、 コープデリです。

コープデリは、関東・信越1都7県で335万以上の世帯にご登録いただいている、日本最大の生協です。
たくさんの宅配サービスや生協があるなかで支持されている理由はきっと、それぞれの“ぴったり”が見つかるから。
原料へのこだわり、価格帯、家族の人数、etc… どんなニーズもおまかせください。

コープデリなら、つかうほどじぶんらしくなれるあれこれが
選べる、見つかる。



コープデリが大切にしている 6 つのこと



豊かで楽しい
食卓へ。

ふだんのくらしに必要な
商品を提供し、
毎日のくらしに貢献します。



安心して
家族へ。

提供する全ての食品の
安全性の確保に
取り組みます。



声を
かたちに。

組合員さんの声を
大切にしたいコープ商品を
開発・提供します。



つながり、
育む。

生産者と組合員さんを
つなぐ「産直」に
取り組みます。



「食べる」を
伝える。

食育「たべる、たいせつ」を
通じて食による健康な暮らしを
提案していきます。



未来に
つなげる。

環境にやさしい
事業とくらしを目指します。

ご加入手続きは
簡単！

今すぐ! Webでお申し込み

コープデリ 加入 検索



こちらからも
アクセスできます

新潟ろうきん福祉財団 「県民・勤労者の福祉・文化向上に関する事業」

事前申込み(要)
参加無料

今年は「新潟工科大学」に集合！！！！

2022にいがたワーク&ライフフォーラム in 柏崎

期 日：2022年10月23日（日）開会10：15～（予定）

【基調講演】講師：鎌田實氏（医師・作家）

場 所：新潟工科大学（柏崎市）

※詳細は、「新潟ろうきん福祉財団」ホームページ等でご案内いたします。みなさまの参加をお待ちしております。



公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団

URL <https://www.zaidan-hukushi.or.jp>

今後の日程

7月	1日 (金) ~2日 (土)	第9期にいがた福祉リーダー塾 (万代シルバーホテル)
	4日 (月)	新潟県自治研センター第3回理事会 (自治労会館)
	5日 (火)	県央地区労福協総会 (三条市:ソレイユ) 聖籠町第1回支援調整会議 (聖籠町保健福祉センター)
	6日 (水)	新潟県総合生協第2回選挙管理委員会 (こくみん共済coop新潟会館)
	7日 (木)	2022年度 中央労福協事業団体・地方労 福協合同会議 (web)
	8日 (金)	第32回新潟県協同組合間連携研究集会 (朱鷺メッセ)
	10日 (日)	新潟市中央陸協と勤労者駅伝大会打合せ (市陸上競技場)
	11日 (月)	新潟県総合生協第8回理事会・こくみん 共済coop第7回代表委員会 (こくみん共済coop 新潟会館)
	12日 (火)	第11回県労福協事業団体責任者会議 (勤労福祉会館)
	14日 (木)	中央労福協事務担当者研修会 (web) 下越地区労福協総会 (イクネスしばた)
	19日 (火)	新潟地区労福協総会 (新潟東映ホテル)
	20日 (水)	県退職者連合第30回定期大会 (新潟東映ホテル) 夢咲Club総代会 (web) 上越地区労福協第1回代表者会議・総会 (ホテルハイマート)
	20日 (水) ~21日 (木)	東部ブロック第235回幹事会・事業団体 責任者会議 (山梨県甲府市)
	21日 (木)	こくみん共済coop県央地区代表者会議 (地場産業センター) 弥彦村第1回支援調整会議 (弥彦村役場)
	25日 (月)	2022年度新潟県日韓親善協会総会・講演 会・交流会 (新潟東映ホテル)
	28日 (木)	新潟県総合生協第68回通常総代会および こくみん共済coop新潟推進本部第5回組 合員代表者会議 (ANAクラウンプラザホテル) 新潟市第4回支援調整会議 (勤労会館)
8月	1日 (月)	県ライフサポートセンター相談員検証会議 (連合中越地協事務所)
	24日 (水)	県労福協第139回理事会 (勤労福祉会館)
	25日 (木)	消費生活ネット理事会 (web)
	26日 (金)	新潟市第5回支援調整会議 (勤労会館)
	29日 (月)	新潟県労働者信用基金協会理事会 (勤労福祉会館)
9月	5日 (月)	中央労福協 女性のひろば (東京連合会館)
	12日 (月) ~13日 (火)	東部ブロック ライフサポート経験交流 (静岡県)
	22日 (木)	新潟市第6回支援調整会議 (勤労会館)
	27日 (火)	中央労福協 第2回生活・就労支援会議 (web)
	28日 (水)	中央労福協 地方労福協会議 (web)
	30日 (金)	中央労福協 ライフサポートセンター実 務者・相談者研修会 (ハイブリット)

編集後記

❖『峠 最後のサムライ』が現在公開されている。当初は2020年9月25日に公開が予定されていたが、新型コロナウイルスの影響で2021年7月1日公開予定に延期になった。しかし同年5月24日に再び延期が発表され、計3回の延期を経て、2022年6月17日公開となった❖『峠』は、原作「司馬遼太郎」の歴史小説であり、記述の中には創作も含まれている。河井継之助といえば、『峠』というほどの大ベストセ

ラーとなった。幕末から戊辰戦争の越後長岡藩家老・河井継之助の名を一躍世間に広めることとなった❖河井継之助は、近代的合理主義者で、時代を見据える先見性と実効性を有しながらも、「藩」や「武士」という束縛から自己を解放するまでには至らず、最後には、武士として、長岡藩の家臣として、新政府軍に対抗する道を選んだ英雄としての悲劇を描いた作品である❖藩主の「正義を曲げる必要なし」の薫陶を受け、圧倒的な新政府軍の物量に対し、果敢に戦い敗れたが、後世に「長岡

藩」の名を残したことは紛れもない事実である❖新政府軍に対し奥羽越列藩同盟、特に会津藩は、「八重の桜」のごとく悲惨な結末となったことも事実である。もちろん、長岡の城下町も完膚無きまでに破壊され、多くの農民・町民も多大な被害を被った❖その後「米百俵の精神」で、長岡は人材育成に励み多くの逸材を輩出した。山本五十六元帥もその一人である。1945年8月1日長岡大空襲により、1488名の尊い命が失われた❖今年は、3年ぶりに「長岡まつり大花火大会」が

開催される。爆弾ではなく鎮魂の思いを込めた平和の花火である❖ウクライナに平和が訪れることを祈りつつ。歴史を振り返る暑い夏である❖近日中に『峠』を鑑賞することとしている。

(新光町のカンペイ)

